

新型コロナウイルス

感染症対策



2021.6



北海道自転車競技連盟
Hokkaido Cycling Federation

写真提供 蓮沼英司 氏

I 基本的事項

(1) 準拠規定

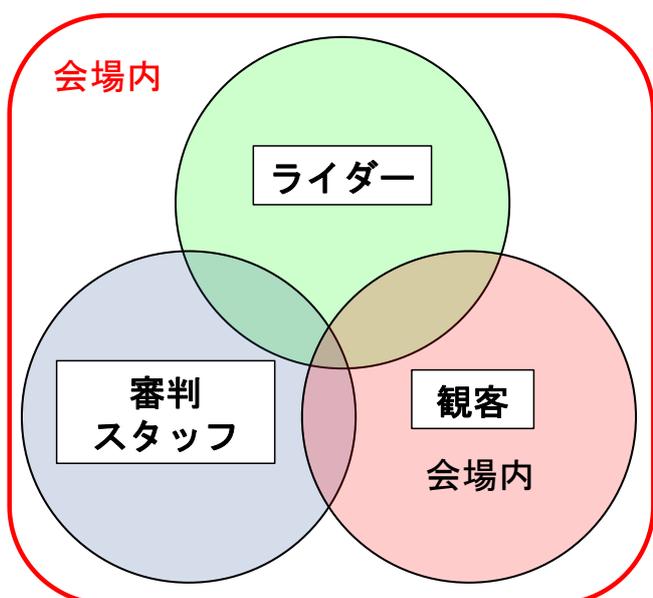
- 公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」
- 日本自転車競技連盟「緊急事態宣言解除後の大会開催に向けたガイドラインについて」(最新版は2020年7月17日)

国内大会ではあるが、UCI 規則(国際レース)の良いところは参照。

- 国際自転車競技連合(UCI)「COVID-19 パンデミック禍における自転車ロード競技に適用される規則」(UCI Class1-UCI Class2 イベント)

(2) レースバブル

会場内の「レースバブル」は、ライダー、審判・スタッフ、観客で構成される。レースバブルに入る時には健康状態チェックを行い、チェック後はリストバンドを配布する。「ライダー」「審判・スタッフ」は大会2週間前からの健康状態を申告、「(会場内)観客」は当日の健康状態を申告し、会場入場時には全員「検温」を行う。



分類	ヘルスチェック		
ライダー	ヘルス チェック	2週間分	A
審判・スタッフ			
観客 会場内		当日	B
沿道応援	なし		-

A: 大会2週間前からのヘルスチェック+検温
B: 当日のヘルスチェック+検温



II 対応策(プロトコル)

A. 大会前

1 感染症予測制御チーム

COVID-19 対策等に精通した COVID-19 コーディネーター及びコーディネーターをサポートするスタッフで構成する。

コーディネーター : ○○○○
スタッフ : ○○○○、○○○○

コーディネーターの責務は以下のとおりとする。

- 大会前に、地域のパンデミック深刻度を評価する。
- コーディネーターはオーガナイザーが実施する予防措置実施のための顧問であり、オーガナイザーと地域保健当局等との間の連絡を行う。
- 疑わしい症例管理プロトコルにより、症例患者管理をアシストする。
- 感染防止のための事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する。
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加者から提出された情報を保存期間(2 箇月)の間保存する。

2 参加者遵守事項の明示

「募集要項」及び「プログラム」の印刷物に以下の参加者遵守事項を明示する。またホームページにも明示する。

【参加者（観客を含む）が遵守すべき事項】

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に利用を見合わせる。また「健康状態チェックシート」を主催者に報告すること。
 - ・ 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航 又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを持参すること。（レースを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用）
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 他の参加者、主催者スタッフ等とのソーシャルディスタンスを確保すること。
- ⑤ 大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑥ 感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑦ 終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。
- ⑧ 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）及び「北海道コロナ通知システム」を活用すること。
- ⑨ ゴミは持ち帰る。特に使用済みマスクや鼻水、唾液が付いたゴミは袋に入れて密封するなど配慮すること。

【レース参加者の留意事項】

- ① 十分な距離の確保
感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること
（※）感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
- ② 位置取り：前の人への呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること
- ③ その他
 - ・ 運動・スポーツ中に、唾や痰をかくことは極力行わないこと
 - ・ タオルの共用はしないこと
 - ・ 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。
 - ・ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと。

「健康状態チェックシートを報告するアプリ」のQRコードは以下のとおり。

北海道自転車競技連盟

健康状態チェックシート

報告用アプリ利用のお願い

北海道自転車競技連盟では大会参加者(ライダー・スタッフを含む)の皆様に、大会2週間前から検温・健康状態管理をお願いしています。
大会前日に、2週間前からの健康状態を報告いただくこととしており、健康状態登録アプリを用意しております。
紙媒体による提出も可能ですが、なるべく接触を回避し、円滑な集計を可能とするため、アプリからの登録をお願いいたします。右のQRコードから登録できます。
また、大会を観戦される観客の皆様もご利用いただきますようお願い申し上げます。

健康状態チェック
報告アプリ



北海道自転車競技連盟
電話番号 TEL 011-251-1187

「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のQRコードは以下のとおり。

iPhoneの方はこちら




Androidの方はこちら




「北海道コロナ通知システム」のQRコードは大会毎に通知する。

3 保健所・病院等への事前連絡

保健所 ○○○○
北海道保健福祉部健康安全局地域保健課 TEL011-204-5020

B レース前

1 健康状態チェックシート

大会参加者は、以下の問診項目をチェックの上、大会前日(24:00迄)にWEBで提出する。WEB操作ができない等人達は、付属資料にある様式に記入して大会当日朝に会場に持参する。

問診表は、選手・審判・役員・スタッフ用の【問診票A】、観客・ゲスト用に簡素化した【問診票B】の2つの様式を使用する。

【問診票A】

質問項目	
参加区分	1. 選手, 2. 審判, 3. 役員・スタッフ, 4. メディア・プレス, 5. 観客・ゲスト, 6. その他
ゼッケン番号	(選手の場合はゼッケン番号を記入)
車連コード	(審判の場合は5桁の車連コードを記入)
お名前	姓と名の間に(半角・全角の)スペースを入れずに詰めて記入して下さい
E-mail	

体温	当日の体温	データ送信日の体温を入力してください。	
大会前2週間の健康状態	体温	過去14日以内に、平熱を超える発熱がありましたか?	1. なし, 2. あり
	咳、喉の痛み	過去14日以内に咳、喉の痛みなど風邪の症状がありましたか?	1. なし, 2. あり
	だるさ・息苦しさ	過去14日以内に、だるさ(倦怠感)・息苦しさの症状がありましたか?	1. なし, 2. あり
	味覚・嗅覚異常	過去14日以内に、味覚・嗅覚異常の症状がありましたか?	1. なし, 2. あり
	疲れやすさ	過去14日以内に、体が重く感じる、疲れやすい等の症状がありましたか?	1. なし, 2. あり
	濃厚接触	過去14日以内に、新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がありましたか?	1. なし, 2. あり
	同居家族等	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいますか?	1. なし, 2. あり
	入国者との接触	過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は該当在住者との濃厚接触がありましたか?	1. なし, 2. あり

【問診票B】

質問項目		
個人属性	参加区分	1. 選手, 2. 審判, 3. 役員・スタッフ, 4. メディア・プレス, 5. 観客・ゲスト, 6. その他
	代表者のお名前	姓と名の間に(半角・全角の)スペースを入れずに詰めて記入して下さい
	連絡先(電話番号)	
	来場人数を記入してください	

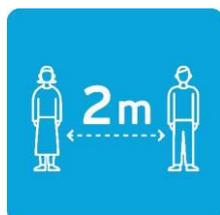
健康状態が良くない場合(発熱・咳・咽頭痛などがある場合)は参加を中止してください。	1. 健康状態良い 2. 健康状態悪い
---	------------------------

2 衛生手順等の情報提供

参加者遵守事項(Ⅱ. A. 2)を、募集要領、プログラムに掲載等を行う。また、衛生手順に関する「北海道スタイル」に従い保護対策を実施し、情報提供を行う。「北海道スタイル安心宣言」の「7つのポイントプラス1」は、以下の8項目で構成されている。

- 1 スタッフのマスク着用や小まめな手洗いに取り組みましょう。
 - 2 スタッフの健康管理を徹底しましょう。
 - 3 施設内の定期的な換気を行いましょう。
 - 4 設備、器具などの定期的な消毒・洗浄を行いましょう。
 - 5 人と人の接触機会を減らすことに取り組みましょう・
 - ・一定の距離(2m程度)の確保
 - ・間仕切りなどの活用や人数制限、空席の確保
 - 6 お客様にも咳エチケットや手洗いを呼びかけましょう。
 - 7 お店の取組をお客様に積極的にお知らせしましょう。
- プラス1 北海道コロナ通知システムを導入し、QRコードを掲示しましょう。

「北海道スタイル」安心宣言ピクトグラムを利用して、会場内で適合箇所に掲示する。



いまは、
きよりとって



手を洗おう



咳エチケット



換気をしよう



北海道コロナ通知システムと
接触確認アプリ(COCoA)を
活用しよう



3つの「密」を
さげよう



テイクアウトや
デリバリーも



オンラインを
上手に使おう



いまは、小声で



正しく理解し
思いやりある行動を

なお主催者遵守事項についても、適合箇所に掲示する。



マスク着用・
手洗いを徹底します



健康管理を
徹底します



こまめに換気します



消毒・洗浄します



一定の距離を
とっています



お客さまへ咳エチケット・
手洗いをお願いします



取組を
お知らせします



北海道コロナ通知システムと
接触確認アプリ(COCA)を
お客様にお知らせします

3 会場入場管理・検温

全ての参加者は、会場に入場する際、検温を受け、健康状態チェックシート提出を行わなければならない。集合時間近くになり、待ち行列が発生することのないよう、窓口数やスタッフ人数をあらかじめ検討する。またイベントが大規模となる場合には、参加者区別や時間差による入場管理を検討する。



「シール・ド・北海道 2021 市民レース」では、以下の3種類区分に分けて入場管理を行う。

- 「選手・観客」で、健康状態チェックシートを「WEB提出」した人
- 「選手・観客」で、健康状態チェックシートを「紙媒体提出」する人
- 「スタッフ」(審判・スタッフ・ゲスト等)

「紙媒体提出」の場合は記載内容のチェックが必要であり、受付に時間を要することから、なるべくWEBで提出していただくよう要請する。会場入場管理終了後、チェック済の人にはリストバンドを配布する。

WEB提出分及び紙提出分の全員の健康状態に異常がないことを確認するため、紙提出分のデータは速やかにパソコン入力して、クラウド上のスプレッ



ドシートにより集計する。集計データは、大会関係者(オーガナイザー・チーフコミセール・救護班等)にリアルタイムで情報共有する(WEBによる情報共有)。

選手・スタッフでチェック漏れが確認された場合や、異常値を確認した場合には、会場内の音響整備等を利用して会場内に案内し、必要な措置を講じる。

4 ライダー受付

会場入場手続きを終えてから、ライダーはライダー受付で「タグ」を受け取る。受付テントは、ビニールシートで感染防止対策を講じる。受付スタッフ等が利用する手指消毒液を配置する。タグ取り付けは、セルフサービスで行うこととし、工具消毒もセルフで実施できるよう工具用消毒液を配置する。



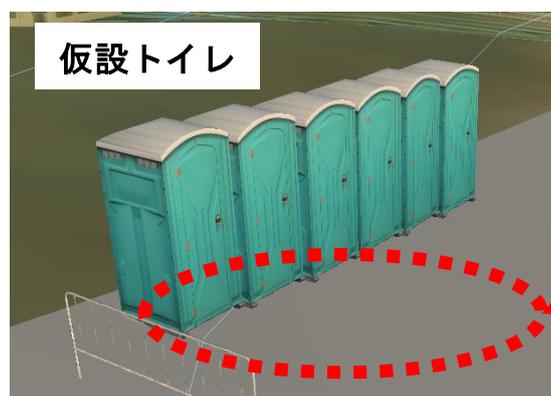
5 共用エリアの清掃・消毒

ライダー受付に利用したテントは、オーガナイザー本部テントとして引き続き利用する。このためライダー受付が終了した段階で、一旦、清掃・消毒作業を行う。

救護テント・隔離テントはテント設置時に清掃・消毒を実施しておく。また消毒用具等を設置しておく、

手指消毒液ボトルは会場内で必要と考えられる箇所に配置する。

仮設トイレには、手指消毒剤を置く。定期的に仮設トイレの点検を行い、必要に応じて水の補給や清掃・消毒を行うことが望ましい。待ち行列が発生する場合に備えて、行列レーン及び位置マーキングを行うことが望ましい。



仮設トイレ

地面マーキング

レンタカーを使用する場合、レンタカー会社では事前に車内清掃・消毒が実施されている。レンタカー使用中は、各自、車内の清掃・消毒の実施や手指消毒を行う。なお、UCI 規則では、乗用車の搭乗人数は3人以内と規定されている(推奨事項)。



6 救護テント・隔離テント

救護テントとは別に隔離テントを設置する。テント2張(救護テント・隔離テント)、救護車3台(隊列・救護テント・中間点)が救護班・コーディネーターの装備となる。隔離テントは救護テントとは離して設置する。

救護テントにはPPE(個人用防護具)等を用意しておく。隔離テントを使用する場合はPPEを使用する。オーガナイザーがあらかじめ用意する個人用防護具は、グローブ・サージカルマスク・個包装マスク(体調不良者等への配布用)、ガウン、ヘアキャップ、フェースシールド、シューズカバー、ポリ袋(大小)等とする。その他、体温計(実測式)、体温計(非接触式)、パルスオキシメータ等を用意しておくことが望ましい。

C レース中

1 マスクの着用

会場内では、全ての人達はマスクを着用しなければならない。
選手はスタート3分前迄マスク着用するものとし、MCがスタート3分前に「選手はマスク外しても結構です」という場内アナウンスがあるまでマスクを着用する。なおマスクを外してからは、声をだしたり飛沫拡散となるような行為を慎むこと。レースフィニッシュ後は速やかにマスクを着用すること。

隊列の車両(チーム、審判、オーガナイザー)、モトも走行中を含めてマスク着用を徹底する。



マスク着用(COMカー)



マスク着用(MOTO COM)

2021 Volta ao Algarve em Bicicleta(Portogal)より

各自、マスクは持参するものとするが、本部テントに予備マスクを若干用意しておくので必要な人は取りに来ること。

2 共通エリアにおける社会的距離確保

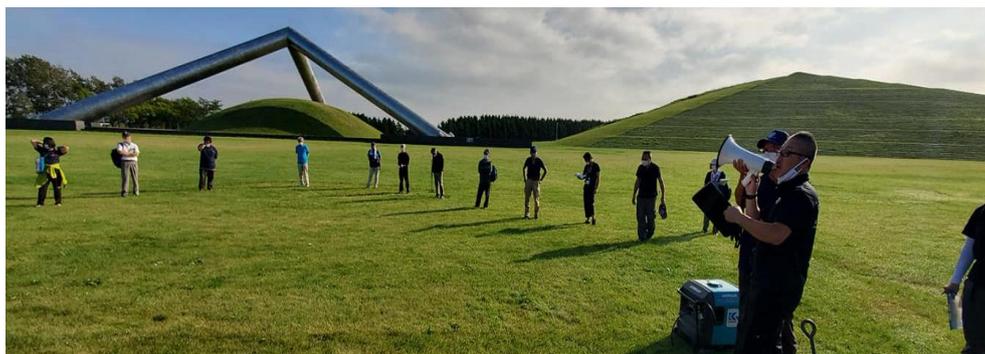
会場内では、人と人の距離を保つ「ソーシャルディスタンス」を遵守する。「密」になる可能性がある場合には社会的距離の確保ができなくなることが懸念されることから、特に以下の3つの場合には気を付ける必要がある。

(1) 朝の受付時

「会場入場管理・検温」「ライダー受付」で、混雑が発生した場合には、受付窓口の増設、受付スタッフの臨時の増員など必要な措置を講じ、混雑回避に努めるものとする。

(2) ミーティング

審判が行う朝ミーティングでは、十分距離がとれる広い場所で行うものとし、拡声器など準備してミーティングを実施するものとする。



(3) レース前のライダー集合時

レース前の、ライダー集合は十分に距離がとれる広い場所で行うものとする。位置取りにあたっては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走あるいは斜め後方の位置取りを行うこと。

(4) フィニッシュエリア後方のアクセス制限

フィニッシュライン後方エリアには、必須の人にのみアクセスを許可する。カメラマンも許可された人だけに制限する。

また、ライダーが滞留することがないように速やかに退出するよう促す。勝利を祝うときは、ハグを行わないよう要請する。

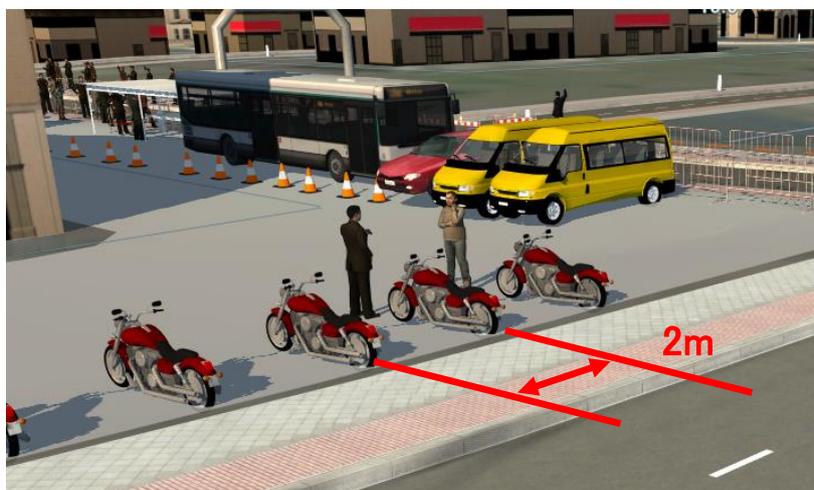
(5) 車内の感染リスク低減

オーガナイザー・審判・チーム車両では、車内の限られたスペースでの感染リスクを減らすため、以下を推奨する。

- 車両の人数を3人に制限。
- 車内ではマスク着用を義務付ける
- 窓を半分開けて、車内を換気する（気象条件による）

(6) オートバイのパーキング

オートバイを駐車する際には、社会的距離の確保に留意する。目安として、オートバイ駐車も、自動車用駐車マス1台分のスペースを使用するものとする。



3 観客対策

限られたでレースを行い観客が集まる場合と、公道レースの沿道観客と、大別して2通りの観客対策のパターンがある。いずれの場合も、体調が悪い場合には観戦を控えること、観客同士が密な状態とならないこと、大声で声援を送らないこと、マスクを着用すること等の留意事項を周知する必要である(Ⅱ. B. 2「衛生手順等の情報提供」参照)。

公道を利用する場合には、地域住民向けの広報が必要となり、市町村広報誌への掲載等お願いする必要がある。

	会場内の観客対策	沿道の観客対策
健康チェック	会場入場時に健康チェック・検温。氏名・連絡先の申告。 リストバンド配布。	なし
遵守事項等	① 体調が悪い場合や感染が疑われる場合は、感染を控えてください。また「健康状態チェックシート」をWebにより主催者に報告すること。 ② マスクを持参すること。(レースを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用) ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。 ④ 他の参加者、主催者スタッフ等とのソーシャルディスタンスを確保すること。 ⑤ 大きな声で会話、応援等をしないこと。 ⑥ 感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、主催者の指示に従うこと。 ⑦ 終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。 ⑧ 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)及び「北海道コロナ通知システム」を活用すること。 ⑨ ゴミは持ち帰る。特に使用済みマスクや鼻水、唾液が付いたゴミは袋に入れて密封するなど配慮すること	① 体調が悪い場合や感染が疑われる場合は、観戦をお控えください。 ② 沿道で観戦される場合は、お住まいに近い場所でご観覧ください。 ③ 沿道では、マスクの着用をお願いします。 ④ 大声を出さずに、拍手による応援をお願いします。 ⑤ 観覧時は前後左右の方と適切な距離を取ってご観覧ください。 ⑥ 観戦される方は、北海道コロナ通知システム、接触確認アプリ(COCOA)をご活用ください。 ⑦ レース観戦後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症に感染した場合、医療機関に相談の上、大会事務局に速やかにご報告ください。
周知方法等	募集要領、プログラム、チラシ、ホームページ掲載等 会場内にピクトグラム掲示、MCIによる会場内アナウンス	チラシ、関係自治体の広報誌掲載を要請 ホームページ、隊列先頭の広報車でアナウンス

日本スポーツ協会ガイドライン、JCFガイドライン準拠

「聖火リレー観覧注意事項」準拠

「聖火リレー観覧注意事項」に準拠した沿道観戦の注意事項は以下のとおりとなる。

<p>沿道における観戦についての注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 体調が悪い場合や感染が疑われる場合(※下記を参照。以下同様)は、観戦をお控えください。 ● 沿道で観戦される場合は、お住まいに近い場所でご観覧ください。 ● 沿道では、マスクの着用をお願いします。 ● 大声を出さずに、拍手による応援をお願いします。 ● 観覧時は前後左右の方と適切な距離を取ってご観覧ください。 ● 観戦される方は、北海道コロナ通知システム、接触確認アプリ(COCOA)をご活用ください。 ● レース観戦後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症に感染した場合、医療機関に相談の上、大会事務局に速やかにご報告ください。 <p>※体調が悪い場合や感染が疑われる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平熱を超える発熱 ● 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状 ● だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
--

- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

4 汚染物等の廃棄

鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に入れて密封して縛り、各自持ち帰り所定のゴミ袋ステーション設置場所に捨てる。

感染症法に基づく感染症の治療及び検査等の後に排出された廃棄物は「感染性廃棄物」として取り扱う。救護テントで感染性廃棄物が排出された場合は、最低限プラ袋二重使用による密閉処理を行い、COVID-19 コーディネーターに連絡する。コーディネーターは自治体のルールに従いこれを感染性廃棄物として処理する。

感染性廃棄物以外(非感染性廃棄物)は、一般廃棄物として取り扱う。家庭ごみの分別は、各自治体により若干の相違はあるが、道内自治体では概ね以下の分別で条件はクリアーしている。

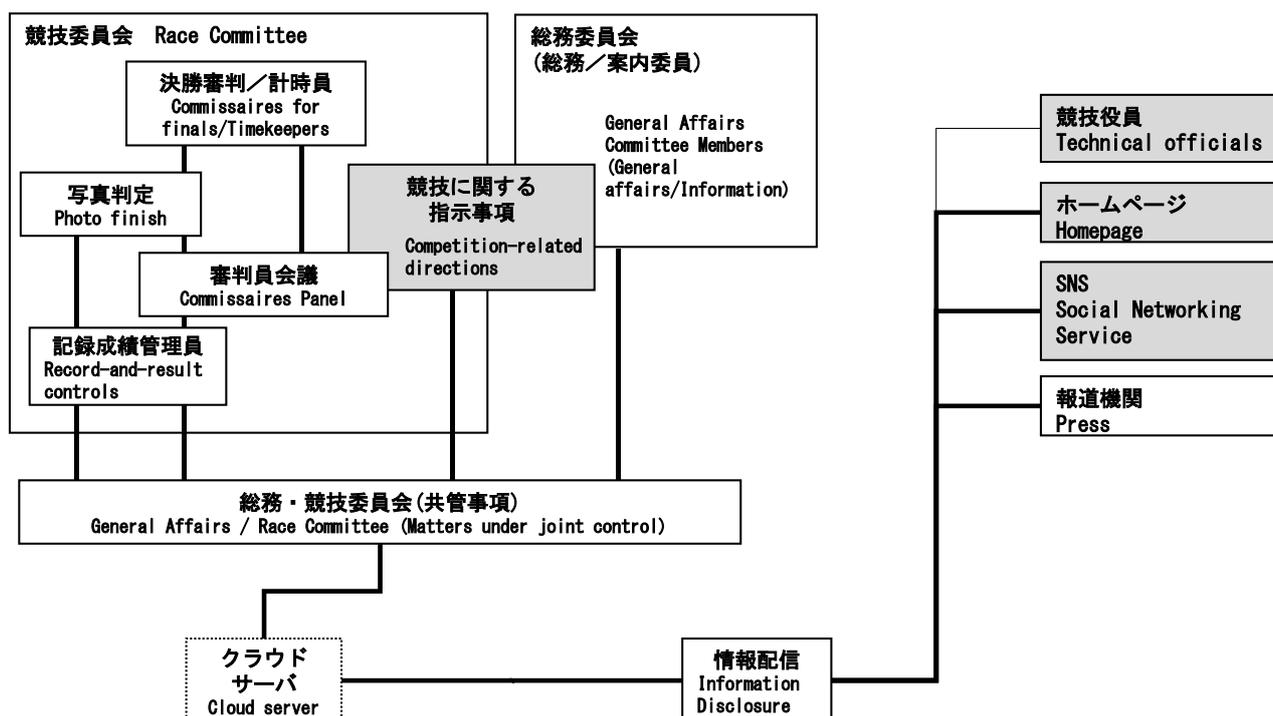
- ① もえるゴミ
- ② 生ごみ
- ③ びん・缶・ペットボトル
- ④ 資源物(プラスチック容器等)
- ⑤ 紙類
- ⑥ もえないゴミ

特に、「もえるゴミ」と「生ごみ」の分別が定められている自治体では、昼食弁当の残飯処理に留意する必要がある。

D レース後

1 リザルト発表の電子化

「密」を回避するため、リザルト掲示は廃止し、電子配信のみで行う。コミュニケ発行のプロセスは下図のとおり。記録成績管理員等が作成したリザルト原稿は、クラウドサーバ(Gドライブ、DropBox等)にアップロードし、インターネットを使用した情報提供を実施する。その際、人と人の接触はなるべく回避して作業等に努めるものとする。



リザルト発行及び情報提供のプロセス

2 表彰式

表彰式は実施しない。

入賞者は、本部テントにてセルフサービス・オプションにより賞品を受け取ることができる。当日受け取らない場合は、後日、協会から郵送する。

E 疑わしい症例への対応

新型コロナウイルス感染症が疑われる場合の対応は以下のとおりである。(厚生労働省)

発熱などのかぜ症状がある場合は、外出やイベントなどへの参加は控えてください。休んでいただくことはご本人のためにもなりますし、感染拡大の防止にもつながる大切な行動です。

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手でおさえると、その手で触ったドアノブなど周囲のものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他者に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。

新型コロナウイルスへの感染が疑われる方は、最寄りの保健所などに設置される「受診・相談センター」にお問い合わせください。特に、以下のいずれかに該当する場合には、すぐにご相談ください。(これらに該当しない場合の相談も可能です。)

- 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- 高齢者、基礎疾患(糖尿病、心不全、呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患など))がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)

「受診・相談センター」では、皆さまから電話での相談を受けて感染が疑われると判断した場合には、帰国者・接触者外来へ確実に受診していただけるよう調整します。その場合には、同センターより勧められた医療機関を受診してください。複数の医療機関を受診することは控えてください。

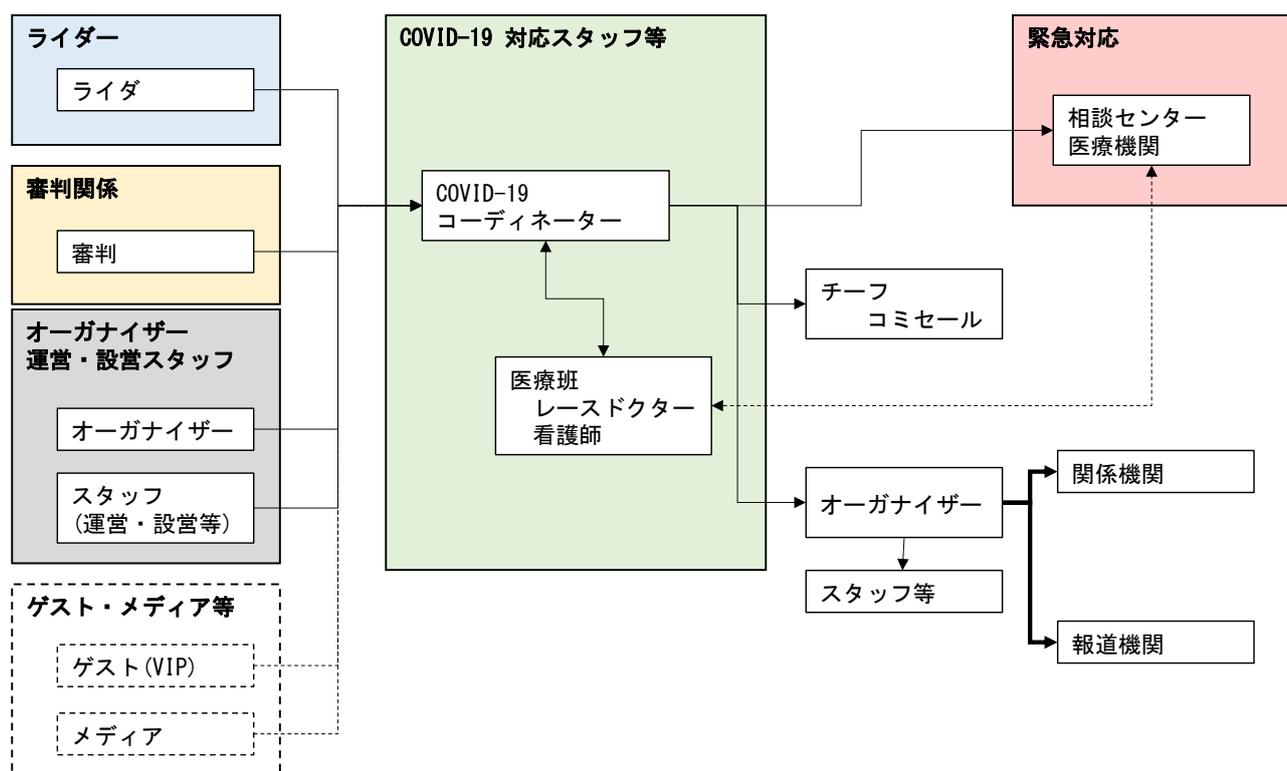
同センターで、感染の疑いがないと判断された場合でも、これまで同様かかりつけ医を受診していただけます。その場合、肺炎症状を呈するなど、診察した医師が必要と認める場合には、再度同センターと相談の上、受診を勧められた医療機関でコロナウイルスのPCR検査を受けていただきます。

1 症例管理

(1) 情報伝達

全ての大会関係者(大会スタッフおよびライダーを含む)は、COVID-19が疑われる場合には直ちにCOVID-19コーディネーターに連絡する。なお、ヘルスチェックで特異な値が報告された場合には、COVID-19コーディネーターから疑わしい症例に関する問い合わせを行う場合がある。コーディネーターは直ちに救護班と情報共有する。

コーディネーターは、チーフコミセール及びオーガナイザーに第1報を連絡する。疑い症例が深刻である場合には、レースに重大な影響を与えかねないことから、オーガナイザーは、スタッフ等への通知、関係機関等への連絡等状況に応じた対応を行う。



(2) 症例者への対応

発熱など疑わしい症例の場合、症例者が「救護テント」に直接行くことは避けて、隔離テントに行くよう案内板等で掲示を行わない周知する。「隔離テント」に症例者の来訪があった場合、コーディネーター又は救護班は、防護具着用の上、症例者への初期対応を行う。

症例者に対して、体温の計測や必要事項の問診を行い、厚労省通達「疑い患者の要件」に該当する場合は、症例者の帰宅を促す等の措置を行う。

感染が疑われる場合の「受診・相談センター」や医療機関への連絡等は、多くの場合、症例者が自宅に帰ってからの対応になるので、必要に応じて COVID-19 コーディネーター又は救護班は症例者に対して必要な情報提供を行う。

症例者への対応を実施した場合、救護班とコーディネーターは情報共有を図るものとし、オーガナイザー・チーフコミセールにも連絡する(再掲)。

※ 参考(厚生労働省通達)

【疑い患者の要件】

(医師及び指定届出機関の管理者が都道府県知事に届け出る基準(令和2年10月2日改定))

患者が次のア～オまでのいずれかに該当し、かつ、他の感染症又は他の病因によることが明らかでなく、新型この名ウイルス感染症を疑う場合、これを鑑別診断に入れる。ただし、必ずしも次の要件に限定されるものではない。

ア 発熱または呼吸器症状(軽症の場合を含む)を呈する者であって、新型コロナウイルス感染症であることが確定してもものと濃厚接触歴があるもの

イ 37.5℃以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、発症前14日以内にWHOの公表内容から新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域に渡航又は居住していたもの

ウ 37.5℃以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、発症前14日以内にWHOの公表内容から新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域に渡航又は居住していたものと濃厚接触歴があるもの

エ 発熱、呼吸器症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断し（法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症に相当）、新型コロナウイルス感染症の鑑別を要したもの

オ アからエまでに掲げるほか、次のいずれかに該当し、医師が新型コロナウイルス感染症を疑うもの

37.5℃以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、入院を要する肺炎が疑われる（特に高齢者又は基礎疾患があるものについては、積極的に考慮する）

新型コロナウイルス感染症以外の一般的な呼吸器感染症の病原体検査で陽性となった者であって、その治療への反応が乏しく症状が増悪した場合に、新型コロナウイルス感染症が疑われる医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルス感染症を疑う

※濃厚接触とは、次の範囲に該当するものである。

- ・新型コロナウイルス感染症が疑われるものと同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があったもの
- ・適切な感染防護無しに新型コロナウイルス感染症が疑われる患者を診察、看護若しくは介護していたもの
- ・新型コロナウイルス感染症が疑われるものの気道分泌液若しくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高いもの

2 症例確定後の対応

大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、協会に連絡する。オーガナイザーは、大会関係者に症例発生に関する情報を連絡する。

健康状態チェックシート

記入年月日 年 月 日

お名前	
ゼッケン番号	

体温を記入してください

本日の体温	
-------	--

大会前2週間の健康状態について□欄にチェックマークをお願いします。

過去14日以内に平熱を超える発熱がありましたか? □なし □あり

過去14日以内に咳、喉の痛みなど風邪の症状がありましたか? □なし □あり

過去14日以内に、だるさ(倦怠(けんたい)感)・息苦しさ(呼吸困難)の症状がありましたか? □なし □あり

過去14日以内に、臭覚や味覚の異常がありましたか? □なし □あり

過去14日以内に、体が重く感じる、疲れやすい等の症状がありましたか? □なし □あり

過去14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がありましたか? □なし □あり

同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいますか? □なし □あり

過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は該当在住者との濃厚接触がありましたか? □なし □あり

健康状態チェックシート(観客用)

記入年月日 年 月 日

代表者氏名	
来場人数	
連絡先 (電話番号)	

健康状態が良くない場合(発熱・咳・咽頭痛などがある場合)は参加
を中止して下さい。

健康状態良い

健康状態悪い

※ 欄にチェックマークをお願いします。

